

第2回足立区ギャラクシティ運営評価委員会議事録

会 議 名	第2回足立区ギャラクシティ運営評価委員会		
事 務 局	地域のちから推進部地域文化課 地域文化課文化施設経理担当 地域文化課文化事業支援係 地域文化課文化施設選定・評価係	課長 濱田 良光 係長 中島 宣幸 係員 新井 祐介 係員 上田 耕平 係長 中村 和由 主任 井出 茂樹 主任 鈴木 理絵 係員 池田 重満	
開催年月日	平成30年10月30日（火）		
開催時間	午前10時00分 ～ 正午		
開催場所	足立区役所 1001会議室		
出席者	宮田 隆志 委員 （東京大学大学院 理学系研究科教授）	渡辺 千歳 委員 （東京未来大学 こども心理学部教授）	伊志嶺 絵里子 委員 （東京藝術大学音楽学部 非常勤講師）
	酒井 雅男 委員 （銀座ヒラソル法律事 務所）	北村 雅文 委員 （足立区立小学校PT A連合会副会長）	四宮 淳司 委員 （足立区少年団体連合 協議会副会長）
欠席者			
会議次第	1 開 会 2 委員長挨拶 3 資料確認 4 採点票意見交換 5 評価確定 6 事務連絡		
資 料	1 次第 2 足立区ギャラクシティ運営評価委員会評価書 （1）個人用・・・・・・・・・・・・・・・・資料1 （2）評価項目ごとの採点一覧・・・・・・・・資料2 （3）評価書（速報値）・・・・・・・・・・資料3		

	(4) 評価点修正用・・・・・・・・・・資料4 3 所見一覧・・・・・・・・・・資料5 4 質問と回答・・・・・・・・・・資料6
そ の 他	

様式第2号（第3条関係）

（審議経過）

【開 会】

〈濱田課長〉第2回足立区ギャラクシティ運営評価委員会にお集まりいただきありがとうございます。本日はよろしく願いいたします。

本委員会は「足立区ギャラクシティ運営評価委員会公開規程」に基づき、公開会議となります。そのため、傍聴人がいる場合は入室を受けませんが、今回はいらっしゃらないのでこのまま進めさせていただきます。

それでは、委員長からご挨拶をお願いいたします。

〈宮田委員長〉本日は評価書を確定させていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

〈濱田課長〉それでは資料の確認を事務局からさせていただきます。

【資料確認】

〈濱田課長〉資料の確認が終わりましたので、ここからの進行は委員長をお願いいたします。

〈宮田委員長〉はい。ではここから進行をさせていただきます。評価書に点数及び意見がまとめられています。各項目10分くらいで確認を進めていきたいと思っております。また、点数、意見共に修正可能です。主に資料の2、3、5を確認して進めていきます。

早速ですが、1番の管理運営体制から行きたいと思っております。

【管理運営部分評価書読み上げ】

〈宮田委員長〉では、ご意見をいただけたらと思っております。他の方の意見と違っていた場

合や、コメントの観点について何かあればお願いいたします。

〈酒井委員〉最後の方の意見の、迷路性については私が書かせていただきました。こちらは私の主観や場所を把握する能力によることもあるかと思っております。場所が分からないというのは楽しい部分もありますが、実際どこにいるか分からなくなりました。こちらは私の観点ですので、他の委員の皆さんのご意見を伺えたらと思っております。

〈中島係長〉補足になりますが、29年度もどこに行けば何があるかわかりにくい、作り方が煩雑ですね、という意見は多分にいただけていました。

〈伊志嶺委員〉子供を連れて来る場合ですが、迷路性は子供にとってそこまで楽しいということはなく、早く目的の場所に行きたがってしまいました。最初に行った時には迷ってしまいました。また、何がやっているのかが把握しにくい部分もあります。2回目、3回目だとわかるようになるので、初めて来た方へのハードルについては、少し高いかと思っております。

〈渡辺委員〉ギャラクシティを利用する年代は様々ですが、できた当初はおそらく小学生が来場者の中心だったので、迷路性のある所を自分たちで探検する楽しさがあったのだと思っております。今の使われ方になり、どのように使ったらいいかを考える必要はあると思っております。

〈四宮委員〉利用回数が多いのですが、スタッフの対応がしっかりできているので、迷っている方がいても問題はないのだと思っております。しかし、混雑したときにスタッフの対応が行き届かない部分が若干あると感じました。

〈宮田委員長〉初来館の方への対応について意見が上がりました。そのため、委員会か

らの意見として、コメントの最後の部分に、初めての方に向けた館内案内への工夫を今後も続けていく必要がある。と付け加えていただきたいと思います。

他の観点を含め、何かありますか。

所見一覧の方にあるアスレチック入口に転倒事後などについて、このあたりの事実関係についていかがでしょうか。

〈酒井委員〉資料に事故の報告がありました。大きな事故がなかったということでしたが、転倒しての頭部打撲はかなり大きな事故だと感じました。また、施設の物が落ちたこともあり、それらを軽い事故として扱うことに違和感がありました。例えば子ども同士がぶつかったなどでも、下手をすると大きな事故に繋がってしまいます。子どもが使う施設なので事故が起こるのはやむを得ない部分もありますが、軽い事故と認識せず、対策を続けていっていただきたいと思います。

〈宮田委員長〉資料には問題はなかったというか書かれ方をしていますね。

〈酒井委員〉結果としては大きな事故ではなかったが、繋がりがうる、ということです。そのあたりの意識をしていただきたいたけなので、修正は必要ないと思います。

〈宮田委員長〉管理運営体制への事前質問をしたのは私なのですが、マルチジョブ化でスムーズな運営ができるようになった一方で、スタッフの方々へ過剰な負担がかかると違う問題が出てくるのではないかとということで質問しました。特にそれを示すようなことはなかったようですが、今後はこの辺りも見えていかないといけないと感じました。来る人が幸せでも働いている人が幸せじゃない、ということになりかねません。

他のところを見ていく中で戻ることできますので、一度次の子ども体験事業へ移ら

せていただきます。

【子ども体験事業部分評価書読み上げ】

〈宮田委員長〉何かご意見ございますか。評価がとても高いですが、「とんがりキッチン」について工夫が必要等のご意見も出ていたようです。いかがですか。

〈伊志嶺委員〉「とんがりキッチン」の利用が平日だと0という日が多いと資料を見ていて感じました。良い施設だと思うのでもったいないと思いました。前回施設見学をした時も、お母さま方へのお茶会などに開放する等工夫がされていましたが、もっと活用と周知ができたのではないかと思います。

〈酒井委員〉使っていない時間も、施設はあるわけですから、使わないともったいないですね。

〈伊志嶺委員〉はい。例えば、料理教室でお夕飯を作り、持ち帰れることができると、夕食を作る必要もなくなり、お母さま方の気持ち楽になるというのもあるのではないのでしょうか。

〈宮田委員長〉平日の利用が少ないのは、場所的な問題なのではないのでしょうか。それとも施設が使いにくいなどがあるのでしょうか。

〈四宮委員〉ガラス張りなので、エアコンが効くまで夏はとても暑く、冬はとても寒いです。「とんがりキッチン」は他の部屋がいつぱいの時も取れることが多いです。そのように利用者が少ないことでより空調が効くのが遅いので、さらに使用しにくいのかもかもしれません。

〈酒井委員〉遮光など、設備上の工夫はされてないのでしょうか。

〈四宮委員〉工夫はされています。明り取りでガラス張りにしているのだと思います。

〈宮田委員長〉その他何かご意見あります

か。

〈酒井委員〉身体の表現プログラム、ダンス表現プログラム、音楽表現プログラムをみて、この施設を使ってこのようなプログラムを組むことで、何を子どもたちに伝えていきたいか、何を展開していきたいのか、というものが見えませんでした。点数やコメントに反映させる必要はないと思いますが、意見として述べさせていただきました。

〈宮田委員長〉利用人数の多い人気のある講座をやるのも大事ですが、特色や方針がある程度決めないといけませんね。

その他、ご意見がないようなので次に行かせていただきます。

【まるちたいけんドーム活用事業部分評価書読み上げ】

〈宮田委員長〉何かご意見ありますか。

〈酒井委員〉「まるちたいけんドーム」は感激的でした。プラネタリウムという発想しかなかったので、星空だけではない利用があって新鮮でした。この事業は柱なのでしょう。

〈濱田課長〉体験型ということで柱の一つです。

〈酒井委員〉入場者数増加がみられる、という部分に足湯やこたつを設けたことが例としてありますが、ここには違和感があります。これ自体を評価することではないような気がしました。

〈宮田委員長〉利用者の増や満足度の高さに繋がっているとコメントにはありますが、このとき利用者が増えたということはあったのでしょうか。

〈中島係長〉足湯についてはそこまで振るいませんでしたが、こたつに関しては非常に人気でした。「まるちたいけんドーム」内の

平場の部分にこたつを数台用意し、そこで家族で団らんをしながらプラネタリウムを見ていただく形です。これを目当てで来ていた方もいらっしゃると思います。常時設置ではなく、イベントとして行いました。プラネタリウムを身近に感じてもらうための事業です。

〈濱田課長〉利用者の増というよりは、話題性ですね。

〈宮田委員長〉どちらかという利用者が増やすというよりは色々な工夫をしているということが評価できる点ということですね。それでは最後の文章については、リピーターにも飽きさせないようコンテンツを多様化することにより、平成 29 年度も前年度を上回る利用者数であり、良好な運営と利用者の満足度の高さがうかがえる。また、ドーム内に「こたつ」や「足湯」が利用できる席を設けるなど、様々なイベントを催してきたことも評価できる。と、したいと思います。

〈濱田課長〉これが直接利用者増になったのではなく、工夫したことで関心を持ってもらえるようになったということです。

〈宮田委員長〉科学の入り口としての役割として旬の話題の提供、前には土星の探査機の話など他ではできない体験ができるようになっていきます。前のハヤブサを割ったような映像を流し、中の構造が分かるようにしていました。こちらは我々が見ても良くわかる素晴らしいものでした。このような普通のプラネタリウムではできないことも行っており、「まるちたいけんドーム」の特性を生かしていると思いました。

その他、ご意見がないようなので次に行かせていただきます。

【文化事業部分評価書読み上げ】

〈伊志嶺委員〉昨年比べてオリジナリティを出そうとする工夫が見られました。一方で、色々な面白いプログラムをやっているにも関わらず参加率が低いのが残念です。ワークショップの利用料金が高いと定員まで達していないことが多いようです。広報の問題なのか、料金の問題なのか、もう少し定員まで集められると良いと感じました。他でも、無料のワークショップだとたくさん人が来ますが、料金が発生すると二の足を踏む、ということはよくあります。

〈酒井委員〉有料になると参加率は下がりますが、かといって無料ばかり奨励するわけにはいかないのが悩ましいですね。

ここで広報について記載をしたのですが、コンサートなどやるものが決まっているのはすぐ広報に出せますが、区民参加型の内容は内容が出来上がっておらず、積み上げていくものなので、すぐ広報に出せません。区民参加型のをプランするときは早めに広報に出せる工夫が必要だと思いました。

〈濱田課長〉ワークショップの価格が適正かどうかは広報の仕方によっても異なります。広報によってどのように見せるかが大切ではないでしょうか。今年行った物づくりのワークショップなどは、作る物・持ち帰れる物に価値を感じるような広報ができれば、参加していただけます。形に残らないものでも、その時間に見合った成果を持ち帰れると感じてもらえれば参加していただけます。そのためは、準備と広報が大切だと考えます。

〈宮田委員長〉今までのお話を受けての訂正ですが、委員会からの意見欄には、「これらの企画が定員まで達しないものも多かった」とあります。ここでいう「これらの」とはワークショップのみを指すと考えられますので、「ワークショップのいくつかは」等、に変えたほうが良いと思います。

広報の話は内容が固まるまで広報が後手にならないよう注意するように、ということかと思いますが、意見欄にある他の事業との抱き合わせによるというのはどのような意味でしょうか。

〈酒井委員〉こちらのコメントは私が記載しました。区で行うイベントのように、人気のあるものにくっつけて一緒に見てもらえるようにすると、区からの大きな応援になるのではないのでしょうか。安く場所を貸すだけでなく、区の応援により宣伝も行うと良いのではないかと、という趣旨で抱き合わせという言葉を使いました。

〈宮田委員長〉他の事業と一緒に広報したり、早い段階から露出の機会を増やしたりするということですね。抱き合わせという言葉で露出の機会を増やす、という言葉に変更をお願いします。

〈酒井委員〉できるだけ早くイベントの成果をアップするという指定管理者からのコメントがありましたが、やはりイベントを行う前の広報が大事だと思います。そちらが少し弱かったと感じました。

〈宮田委員長〉文化事業への事前質問をしたのは私なのですが、落語が良質鑑賞事業から外れた理由は、西新井文化ホールが音楽ホールであることから音楽関係の事業を推進することにした、という区からの回答でした。これは落語等の良質鑑賞事業を減らしているということではなく、指定の枠を変えたという認識でよいのでしょうか。

〈濱田課長〉はい。落語に集客効果があるのは分かっています。人を集めてホールを使わせていただく、というのはいいことです。

〈伊志嶺委員〉どこのホールでも落語はやっていて、集客が見込めます。音楽専用ホールでもだいたい落語は入っています。

〈宮田委員長〉その他ご意見がないようですので次に進めさせていただきます。

【広報事業部分評価書読み上げ】

〈宮田委員長〉SNSの話があり、こちらはある程成功しているが、各年齢層にふさわしい広報だったかは不明だった、となっています。

〈渡辺委員〉広く浅くの広報で、みんなが目にするところに対する広報だったと思います。例えばギャラクシティに来にくい地域の方へ交通の便を案内する等、そのようなきめ細かさはどうなのかと思いました。

〈酒井委員〉リアルタイム動画配信を試みたらどうかというコメントを記載しました。区外からも集団で学校の方が来ます。そうすると親御さんはとても興味を持っています。若干時間差でもいいのですが、動画でアップしていれば必ずお子さんを見ます。ホームページにリンクさせて、リアルタイムの映像が見えるようにしておく、行ってみたくなると思います。館内にいる子どもへインタビューを行うなどするともっといいと思います。今は写真ではなく動画の時代です。動画がまだ試みられていないと思いました。

〈中島係長〉事業が終わった後、工作の作り方などを動画で行ったことはありましたが、リアルタイムというのはありませんでした。

〈酒井委員〉リアルタイム配信はすぐできます。子どもが喜んでいる様子を配信できると、子どもに行かせたい、と思ってもらえることが出来ると思います。

〈濱田課長〉映像コンテンツは気をつけないといけない部分もあります。リアルタイム動画配信中というのを告知する必要があります。ワークショップなどはリアルタイムで

なくてもこんなものができた、としてもいいかもしれません。

〈四宮委員〉リアルタイム配信だと混雑状況もわかりますね。

〈濱田課長〉今なら空いています、と配信できますね。

また、区内の方含め遠くからくる方のアクセスの仕方などの工夫も必要ですね。例えばバスの時刻表や所要時間の案内などを掲載できたらいいと思っています。

〈渡辺委員〉バスの時刻表はいいですね。アクセスの悪い地域に臨時バスを出し、一度体験していただく。楽しかったら遠回りでも次回自分で行ってみよう、と思ってもらえるようになると思います。

〈酒井委員〉ギャラクシティへ通じるコミュニティバスはあるのでしょうか。

〈中島係長〉バスはありますが、すべてのエリアから1本で行けるわけではありません。乗り換えになる地域もあります。

〈渡辺委員〉ギャラクシティに行く場合は特別に割引をする等工夫をしていただきたいです。

〈酒井委員〉工夫すると利用者が伸びますね。

〈宮田委員長〉今お話に出たリアルタイム配信について、委員会からの意見に追加をお願いします。

混雑についてですが、現在の混雑状況を伝えるということも大事ですが、これまでの評価では来館者数というのがアピールポイントになっていました。一方で利用者が多くなると混雑し、区民の方は利用しにくくなってしまいます。両立はできないので、どこかで良い辺りをみつける必要があると感じます。そのイメージをある程度指定管理者と区とで共有されていないと、どこに対して広報のパワーをかけるかが判断できなくなってし

まいります。区の方で方針を出すなり、現場と話すなりして、少しずつ状況を確認する必要があると思いました。

〈濱田課長〉29年度の「スペースあすれちつく」の待ち時間は？

〈中島係長〉最長で2時間です。平均すると土日だと30分から1時間で、30分待つと入れることが多かったです。特に混むのは日曜日の午後1時から3時で、午前中は比較的すいている傾向があります。区民の方は午前中に来ている方が多いようでした。

区民の割合は来館者数の4割位来ていただけるとありがたいということで29年度は目標を立てていました。地域の方々を排除した事で人気下がった施設が過去にありました。地域を大事にすることで外からも人が来る、そういった過去の事例をギャラクシティでも実践しようということで29年度は取り組んでいました。できるだけ地域の方に来ていただけるようアウトリーチを多めにかけていました。しかし、ご指摘いただいたとおり、交通の便等どのようにしたら来ていただけるのかという視点は欠けていた部分があるかもしれません。

〈伊志嶺委員〉区民の方の中で、混んでいるから行きにくいというイメージになっているのだとしたら、区民の方にも来やすい施設になりました、というアピールが必要だと思います。区民向けの事業を増やしているのにも関わらず、区民の来館者が増えなかったのが混んでいるというイメージのせいなのだとしたら、ギャラクシティは変わりましたよ、とキャッチーに広報をすることで、行ってみようかなと思っていただけるのではないのでしょうか。

〈中島係長〉区民の方は混んでいるイメージが強すぎて、わざわざ近所の混んでいるところに行きたくない、待ちたくないというお

話を聞きます。その部分の改善とキャッチーなアピール、この二つの改善が必要だと思いました。

〈伊志嶺委員〉区外在住ですが、2回位行くところは混んでいる施設なのだなと思い、だんだん足が遠のいてしまいました。

〈酒井委員〉区民の方が早く入れるパスポートのようなものはないのでしょうか。

〈中島係長〉区民パスのようなものを検討した事もあります。しかし人気コンテンツの「スペースあすれちつく」は入口が狭く、待ち列を区民専用枠、それ以外の方、と作るのが困難で、そのあたりを含めて工夫が必要だと思いました。

〈宮田委員長〉区民向けアピールについて委員会からの意見に追加をお願いします。

広報事業まで終了しました。点数についても変更可能です。変更がありましたらこの後事務局へ評価点修正用資料を提出してください。委員会からの意見につきましては、先ほど修正をお願いしたものについて修正後、事務局から一度全委員に回覧します。その際にご意見をいただいたものの修正及び最終確認につきましては、委員長に一任させていただく形で進めてよろしいでしょうか。

【委員同意】

〈宮田委員長〉それでは委員会の意見欄について全体的に何かご意見ありましたらお願いいたします。

現在の変更点は、運営管理について、初めての利用者についての文言を追加していただくこと。「まるちたいけんドーム」については、こたつや足湯という工夫をしている点が評価できるということ。文化事業についてはワークショップの一文についての修正と、

抱き合わせによるという言葉から露出を増やすという言葉に変更していただくこと。広報事業については、館内の様子を伝えるとともに混雑の様子を正確に把握してもらうため、リアルタイム動画配信をやってはどうかということと、区民向けの企画が増えているのでそのアピールをメインに打ち出してはどうか、ということです。他に何かございますか。

委員会からの意見についてはご意見がないようですので、以上とさせていただきます。これまでの議論で点数の修正がある方は、事務局へ評価点修正用資料の提出をお願いいたします。

【修正作業・点数確定】

〈宮田委員長〉文言については後日となりますが、点数は確定となります。以上をもちまして、ギャラクシティの平成29年度運営にかかる、運営評価委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

〈中村係長〉平成30年度の評価委員会につきましては、来年度になりましたらご連絡いたします。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。

【閉会】